



▲素早い動きと判断が求められる競技かるたは、まさに「畳の上のスポーツ」。

かるた道場

2月4日、きらら交流館で、競技かるたの普及を目的とした「かるた道場」が開かれ、市内外から集まった約30人が競技かるたを楽しみました。会場では、熟練者同士が真剣勝負を繰り広げる一方、初心者も、ルールやテクニックの説明を受けた後、使用する札を限定するなどの分かりやすい形で競技かるたを体験し、その魅力を学びました。



▲審査委員長に「歌を口ずさむだけで情感があふれるように伝わってくる」と評され、賞状を受け取る伊藤さん。

文部科学大臣奨励賞を受賞した伊藤亜由美さん

伊藤亜由美さん（竜王中3年）が、「第39回全国中学校文芸作品・歌曲創作コンクール」歌曲の部で文部科学大臣奨励賞を受賞し、2月14日には伝達式が行われました。このコンクールは、多感な中学生の時期に創造的活動を行うことで、豊かな情操と人間性を育み、自己表現の意欲を高めようと教育図書出版社が主催しているものです。

伊藤さんは、夏休みの自由課題として作詞・作曲に取り



▲厚狭校区の代表は「文化財の保護と自然の蘇生」について語りました。

市長を囲んでふるさとづくりを語る会

2月7日、商工センターで「市長を囲んでふるさとづくりを語る会」が開催されました。これは、ふるさとづくりに関わる人たちが、市長に日ごろの活動の中で描いている夢や意見を発表し、市の企画やふるさとづくりへの参考にしてもらおうと行われているものです。各地域の代表8人が、ふるさとづくりへの夢と希望を市長に伝えました。

『心のダイアリー』

思い出を振り返れば	ページを重ねるたびに
いつも仲間がいて	希望へと変わる
優しくつつんでくれた	いつまでも忘れない
励ましてくれたよ	みんなの笑顔を
交わした言葉も	つつっていくよ
流した涙も	心のダイアリーへ

▲伝達式では、3年生全員で考えた続きの歌詞も加えて、受賞作「心のダイアリー」をみんなで合唱。

組み、全国411点の応募作品の中からみごと最高賞に輝きました。「心のダイアリー」と題した受賞作品は、学校生活で大きな支えとなった友だちへの想いをつづった曲。『詩と音とリズムを合わせるのに苦労しました。こんなに大きな賞を受けるとは思わなかったので、とてもうれしいです。機会があればまた曲づくりをやってみたいです。』と、受賞の喜びを話してくれました。